

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
セイコーエプソン株式会社	常務執行役員 (生産企画担当)	渡辺 潤一	長野県	製造業	https://www.epson.jp/company/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月24日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	③	パレット等の活用	・パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A	⑥	集荷先や配送先の集約	・輸送動線を意識し、ムダのない物流設計を行います。
4	A	⑨	荷主側の施設面の改善	・倉庫等の物流施設のレイアウト変更/物流資機材(ハンドリフト、パレット、ストレッチフィルム)の設置場所最適化等を行い、荷待ち時間や荷役時間を短縮します。 ・納品場所及び、引き取り品の見える化により、荷役時間の短縮を行います。
5	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・長距離輸送について、トラックから鉄道の利用への転換を行います。この際に、運送内容や費用負担についても必要な見直しを行います。
6	D	②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、物流業者への連絡がスムーズに伝わる様に連絡体制を明確化し、連絡網を常に最新版に更新等の備えを怠りません。

PR欄	<p>・エプソンは、1942年の創業以来培ってきた「省・小・精の技術」をベースに、世界中でお客様の期待を超える製品・サービスをお届けするべく、創造と挑戦を重ねてまいりました。</p> <p>・私たちは社会課題の解決に真摯に向き合い、ビジネスパートナーとの協業や、同じ志を持つ方々との協力により、物流の改善に取り組み、「ホワイト物流」で目指す、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。</p>
-----	--